

知床世界自然遺産地域科学委員会
適正利用・エコツーリズムワーキンググループの設置について

1. 目的

知床世界自然遺産地域の適正な利用およびエコツーリズムの推進を図り、多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継ぐとともに、良質な自然体験を提供するため、必要な科学的助言を得ることを目的として、知床世界自然遺産地域科学委員会・設置要綱第4条第4項に基づき、適正利用・エコツーリズムワーキンググループを設置する。

2. 構成

○委員

~~—(科学委員会委員)—~~

愛甲 哲也 北海道大学大学院農学研究院 准教授

~~——石川 幸男——~~ ~~専修大学北海道短期大学 教授~~ 小林 昭裕 専修大学経済学部

教授

敷田 麻実 北海道大学観光学高等研究センター 教授・科学委員会委員

中川 元 斜里町立知床博物館 前館長・科学委員会委員

~~—(特別委員)—~~

~~愛甲 哲也——~~ ~~北海道大学 准教授~~

~~小林 昭裕——~~ ~~専修大学北海道短期大学 教授~~

~~——庄子 康——~~ ~~北海道大学 准教授~~

~~——間野 勉——~~ ~~北海道立総合研究機構環境科学研究センター 研究主幹~~

○専門委員

石川 幸男 弘前大学白神自然環境研究所 教授・科学委員会委員

庄子 康 北海道大学大学院農学研究院 准教授

間野 勉 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部企画調整部 企画課長

○地元自治体

斜里町

羅臼町

○事務局

環境省釧路自然環境事務所

林野庁北海道森林管理局

北海道環境生活部

3. 運営

○*WGは、知床世界自然遺産地域連絡会議 適正利用・エコツーリズム部会と合同で開催（「知床世界自然遺産地域 適正利用・エコツーリズム検討会議」とする。） することができる。

○専門委員は、委員の専門分野以外の検討テーマが生じた場合に、必要に応じてWGに参加する。

○*WGには、必要検討テーマに応じて、委員及び専門委員以外の学識経験者等に対し、

WGへの出席を求めることができる適宜、特別委員を追加する場合がある。

平成 26 年〇月〇日 一部改正